



JR東労組川崎運輸区分会 結成アピール

私たちは、ここ「エポック中原」において、『川崎運輸区分会』結成大会を開催し、組合員からのさまざまな想いや決意の発言によって議事が補強され、満場一致で規約・規則、当面の活動方針が確認された。

結成準備委員会を2020年1月9日に発足させ、新たな組織の確立に向けて議論を積み重ねてきた。基地再編成における会社の目的や狙いを議論しながら、職場の慣習等の違いを出し合い、「川崎運輸区分会」をしっかりと創りあげていこうと議論を繰り返してきた。

会社の業務説明会で提示されたルールでは、年休取得方法の変更や食堂に私物のお茶や調味料を置かせないなど、一方的に労使慣行を変更し、労務管理の強化を押し進めようとしている。そもそも労使慣行とは、組合員の安全・健康・働きがいを守るために、労使で議論しかつ円滑な業務運営に寄与するものであった。私たちは、今後も会社と議論を重ね、新たな労使関係を築き上げてゆく。そのためには、運輸区発足後すぐに実施されるであろう過半数代表者選挙では絶対に勝利せねばならない。

しかし、組織の現状は決して盤石ではない。18春闘の大敗北により、多くの仲間が組織を去った。私たちは大敗北の反省をもとに、組織の信頼を回復するため、組合員に寄り添い、組合員とともに運動を創りあげていかなければならない。

「川崎運輸区分会」は川崎運輸区・中原支所・JETSの組合員が集まり、本日結成した。これから青年部・分科会・サークル協議会の結成、レクリエーションや分会旅行などを通じて、運転士・車掌・かんり・検修・構内すべての仲間と職責をこえて手を取り合い、安全で働きやすい「川崎運輸区分会」をみんなで創り出そう！

以上

東日本旅客鉄道労働組合
横浜地方本部川崎支部
川崎運輸区分会
2020年3月8日